

前金	部分払	
有	一回	

令和4年度営建整補第7号

香良洲高台防災公園管理棟及び屋内運動施設建築工事

工事場所	津市 香良洲町 地内					
工 期	265日間					
工事概要	新築 管理棟 鉄骨造平家建 延面積584㎡ 屋内運動施設 鉄骨造平家建 延面積1,040㎡ ※上記に係る建築工事 一式					
部長	参事	営繕課長	調整・建築営繕担当主幹 検算者	建築営繕担当 照査責任者	担当	設計者
設備担当 検算者 設備担当 照査責任者 担当 設計者						

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		

管理棟					
名 称		数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
土工		1	式		
地業		1	式		
鉄筋		1	式		
コンクリート		1	式		
型枠		1	式		
鉄骨		1	式		
防水		1	式		
タイル		1	式		
木工		1	式		
屋根及びとい		1	式		
金属		1	式		
左官		1	式		
建具		1	式		
塗装		1	式		
内外装		1	式		
ユニット及びその他		1	式		
計					

管理棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	既製コンクリート杭	1	式		
地業	表層地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
鉄骨	鋼材費	1	式		
鉄骨	製作費	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					

管理棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
タイル	内部	1	式		
計					
木工		1	式		
計					
屋根及びとい		1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミ製建具	1	式		
建具	軽量鋼製建具	1	式		
建具	トリプルガラス	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		

[illegible]

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

管理棟		鉄筋				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼	SD295A D10	0.5	t			
異形棒鋼	SD295A D13	10.5	t			
異形棒鋼	SD295A D16	0.2	t			
異形棒鋼	SD345 D22	4.5	t			
鉄筋加工組立費		1	式			
鉄筋運搬費		1	式			
鉄筋が入圧接	D22 -D22	128	か所			
スクラップ 控除		1	式			
計						

津市建設部営繕課

管理棟		鉄骨		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材	BCR295 □ -300x300x12	6.5	t			
鋼材	SN400B H488x300x11x18	14.5	t			
鋼材	SN400B H-294x200x8x12	4.3	t			
鋼材	SN400B H-250x125x6x9	0.3	t			
鋼材	SS400 H-298x149x5.5x8	0.2	t			
鋼材	SS400 H-250x125x6x9	7.3	t			
鋼材	SS400 H-198x99x4.5x7	1.9	t			
鋼材	STKR400 □ -150 x 150 x 6	0.8	t			
鋼材	SSC400 C-100x50x20x3.2	8.7	t			
鋼材	SSC400 C-100x50x20x2.3	7.6	t			
鋼板	SN490C PL-40	0.5	t			
鋼板	SN490C PL-35	0.2	t			
鋼板	SN490C PL-22	0.1	t			
鋼板	SN490B PL-19	0.2	t			
鋼板	SS400 PL-12	0.9	t			
鋼板	SS400 PL-9	2.7	t			
鋼板	SS400 PL-6	0.9	t			
高力ボルト	S10T M20 L=75	466	組			
高力ボルト	S10T M20 L=65	233	組			
高力ボルト	S10T M20 L=60	1,165	組			

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

[illegible]

管理棟 屋根及びとい						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<屋根>						
縦馳葺き	ｶｰｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ鋼板 t0.4 棧ｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ受・吊子(SUS製)共	731	m ²			
下葺材	ｺﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ t=1.0	731	m ²			
野地板	硬質木片セメント板 t=18	731	m ²			
軒先水切	ｶｰｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ鋼板 t0.4 補強材、面戸、伸縮唐草、ｼｰﾘﾝｸﾞ 共	36	m			
水上水切	ｶｰｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ鋼板 t0.4 幕板、伸縮唐草、ｼｰﾘﾝｸﾞ 共	36	m			
ｸﾞﾗﾌﾞ 水切	ｶｰｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ鋼板 t0.4 唐草水切、破風共	56.3	m			
軒樋	ｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ鋼板 ｵ型 W200 SUS製吊金物共	36	m			
落し口	ｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ製 φ90	4	か所			
落し口	ｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ製 φ60	2	か所			
縦樋	ｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ製 φ90 取付金物共	16.8	m			
縦樋	ｶﾞﾙﾌﾞﾘｸﾞ製 φ60 取付金物共	8.4	m			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

津市建設部営繕課

管理棟		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
< 床 >						
複合フローリング	オーク 直張り 厚15.0 耐摩耗 表面単板 厚2.0 塗装品	291	m ²			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループタイプ 一般事務室用	30	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	74	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	37.2	m ²			
ビニル幅木	H60	73	m			
ビニル幅木	H300	8.9	m			
< 壁 >						
壁 ビニルクロス貼	中級品 ボート面、不燃、準不燃共	448	m ²			
マリン不燃化粧板	t=3 シール共	105	m ²			
壁 セッコウボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 銅製、木、ボード 下地 継目処理 - -	450	m ²			
壁 セッコウボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 銅製、木、ボード 下地 突付けV目地 - -	159	m ²			
壁 シーズンボード張り (GB-S)	厚12.5 不燃 銅製、木、ボード 下地 下地張り - -	77.2	m ²			
壁 グラスウール充填	厚100 24kg/m ³	180	m ²			
壁 グラスウール充填	厚50 24kg/m ³	80.2	m ²			
< 天井 >						
天井 ロックウール化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-R 厚 9.5共	402	m ²			
天井 不燃化粧セッコウボード張り (GB-NC)	厚9.5 不燃 突付け トライプチ	141	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	339	m			
天井 グラスウール充填	t100 24kg/m ³	544	m ²			

管理棟 エント及びその他						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
システムキッチン	W1800タイプ 流し台、吊戸棚、レンジフード	1	か所			
下駄箱	W2947.5 × D350 × H1060 巾木SUS	2	か所			
収納棚1 (倉庫)	木製 W5805 × D600 × H1800	1	か所			
収納棚2 (屋外倉庫)	木製 W3480 × D600 × H1800	1	か所			
収納棚3 (屋外倉庫)	木製 W3805 × D600 × H1800	1	か所			
ホワイトボード	W3600 × H1200 壁掛平面 ホーロー製 アルミ枠・アルミ粉受付	2	か所			
掲示板	W1200 × H900 枠アルミ製 ビニル紙貼	1	か所			
掲示板	W3600 × H1200 枠アルミ製 ビニル紙貼	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=2,700	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=2,100	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=1,170	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=835	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=820	1	か所			
消火器(屋内)	ABC10型 スチール製 床置スタンド 共	5	か所			
消火器(屋外)	ABC10型 SUS製 格納箱共	3	か所			
地震時自動解錠防 災ボックス	SUS製 W400 × H530 × D200 壁掛式屋外型	1	か所			
<ロールスクリン>						
ロールスクリン ホール(AW-1)	ロールスクリン 標準タイプ W2,100xH2,400	3	か所			
ロールスクリン 休憩室1(AW-2)	ロールスクリン 標準タイプ W2,300xH2,400	3	か所			
ロールスクリン ホール(AW-3)	ロールスクリン 標準タイプ W2,700xH2,400	2	か所			

管理棟 エント及びその他						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ロールスクリン 休憩室2(AW-4)	ロールスクリン 標準タイプ W2,300xH1,100	3	か所			
ロールスクリン 休憩室3(AW-5)	ロールスクリン 標準タイプ W2,700xH1,100	2	か所			
ロールスクリン 会議室(AW-6)	ロールスクリン 標準タイプ W4,400xH1,100	1	か所			
ロールスクリン ホーチ、管理室 休憩室3(AW-7)	ロールスクリン 標準タイプ W1,000xH1,000	6	か所			
運搬・取付け		1	式			
<サイン>						
室名札 (S-1)	W250×H80 基板 アルミ型材 アルミ仕上 表示 カッティングシート	5	か所			
ビュ外室名札 (S-2)	カッティングシートサイン、文字	4	か所			
ビュ外室名札 (S-2a)	サイン:ステンレス焼付塗装 t2.5 架台:ステンレス焼付塗装 t5.0	1	か所			
カッティングシート文字 (S-3)	カッティングシート文字 一文字30×30	5	か所			
館名札 (S-4)	W450×H45 ステンレスHL 文字エッチング+塗装	1	か所			
館名札 (S-4a)	ステンレス切文字 W300×H300 t5.0 焼付塗装 9文字	1	か所			
総合案内板	W600×H900 ステンレスHL枠 アルミ基板 インクジェット+UV点字仕上	1	か所			
計						

屋内運動施設						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
木工		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
計						

屋内運動施設					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	既製コンクリート杭	1	式		
地業	表層地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
鉄骨	鋼材費	1	式		
鉄骨	製作費	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					

屋内運動施設					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
タイル	内部	1	式		
計					
木工		1	式		
計					
屋根及びとい		1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミ製建具	1	式		
建具	軽量鋼製建具	1	式		
建具	トリアックス	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					

[illegible]

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

屋内運動施設		鉄骨		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材	BCR295 □ -350x350x19	15.8	t			
鋼材	SN400B H588x300x12x20	31.9	t			
鋼材	SN400B H-298x149x5.5x8	0.2	t			
鋼材	SN400B H-294x200x8x12	5.3	t			
鋼材	SN400B H-250x125x6x9	0.1	t			
鋼材	SS400 H-298x149x5.5x8	0.6	t			
鋼材	SS400 H-250x125x6x9	12.3	t			
鋼材	SS400 H-198x99x4.5x7	3.7	t			
鋼材	STKR400 □ -100 x 100 x 4.5	0.1	t			
鋼材	SSC400 C-100x50x20x3.2	11.1	t			
鋼材	SSC400 C-100x50x20x2.3	12.3	t			
鋼板	SN490C PL-40	0.8	t			
鋼板	SN490C PL-25	0.5	t			
鋼板	SN490B PL-19	0.2	t			
鋼板	SS400 PL-16	0.5	t			
鋼板	SS400 PL-12	0.6	t			
鋼板	SS400 PL-9	5	t			
鋼板	SS400 PL-6	2.4	t			
高力ボルト	S10T M20 L=80	749	組			
高力ボルト	S10T M20 L=60	1,880	組			

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

屋内運動施設 屋根及びとい						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<屋根>						
縦馳葺	ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t0.4 棧ｶﾞﾙ→ｷｬｯﾌﾟ受・吊子(SUS製)共	1,255	m ²			
下葺材	ｺﾞﾑｱｽﾌﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t=1.0	1,255	m ²			
野地板	断熱耐火野地板 t=45 (ﾌｧｲﾊﾞｰﾌｫｰﾑt25+硬質木毛ﾍﾞｰﾄﾞ板t20)	1,255	m ²			
軒先水切	ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t0.4 補強材、面戸、伸縮唐草、ｼｰﾘﾝｸﾞ共	44	m			
水上水切	ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t0.4 幕板、伸縮唐草、ｼｰﾘﾝｸﾞ共	44	m			
ｸﾗﾌﾞ水切	ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t0.4 唐草水切、破風共	72.2	m			
軒樋	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t0.5 ﾊｺ型 W200 SUS製吊金物共	44	m			
落し口	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製 φ90	8	か所			
落し口	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製 φ60	6	か所			
縦樋	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製 φ90 取付金物共	32.8	m			
縦樋	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製 φ60 取付金物共	24.6	m			
計						

津市建設部営繕課

屋内運動施設		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床見切り	SUS製 W30	8.6	m			
巾木	SUS製 H=60	36.9	m			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	441	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	169	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0023
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りあり @360 吊金具含む 振止め補強共	71.5	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @300 吊金具含む 振止め補強共	70.4	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強		1	式			別紙 00-0024
天井点検口	一般タイプ Aに製 内外枠共額縁 450角	2	か所			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

屋内運動施設		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
E P - G 塗り	ホ-ド面 工程B種(一般) 素地B種	48.4	m ²			
S O P 塗り	鉄鋼面 工程B種 塗料1種	862	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種	2,548	m			
W P 塗り (糸幅100mm以下)	木製 工程B種 素地B種	36.1	m			
O S 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地B種	123	m			
計						

津市建設部営繕課

屋内運動施設		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<床>						
複合70-リツク	オーク 直張り 厚15.0 耐摩耗 表面単板 厚2.0 塗装品	53.9	m ²			
弾性塩ビシート	発泡層付長尺シート 厚7.5	835	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	28	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	42.4	m ²			
ビニル幅木	高さ60	97.4	m			
ビニル幅木	H300	9.1	m			
<壁>						
壁 ビニルクロス貼	中級品 ホート面 不燃	535	m ²			
マリン不燃化粧板	t=3 シール共	113	m ²			
壁 せっこうホート張り(GB-R)	厚12.5 不燃 銅製、木、ホート下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	420	m ²			
壁 せっこうホート張り(GB-R)	厚12.5 不燃 銅製、木、ホート下地 継目処理 -	115	m ²			
壁 せっこうホート張り(GB-R)	厚12.5 不燃 銅製、木、ホート下地 突付けV目地 -	48.4	m ²			
壁 シージツク せっこうホート張り(GB-S)	厚12.5 不燃 銅製、木、ホート下地 下地張り -	89.1	m ²			
壁 グラスウール充填	厚100 24kg/m ³	525	m ²			
壁 グラスウール充填	厚50 24kg/m ³	69.4	m ²			
<天井>						
天井 ロックウール化粧吸音板張り(DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-R 厚12.5共	71.5	m ²			
天井 化粧 せっこうホート張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トリプル 突付け	70.4	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	128	m			

津市建設部営繕課

屋内運動施設						
エント及びその他						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
下駄箱1	W3545×D350×H1060 左コーナー SUS巾木 転倒防止固定	1	か所			
下駄箱2	W3540×D350×H1060 右コーナー SUS巾木 転倒防止固定	1	か所			
下駄箱3	W3540×D350×H1060 SUS巾木 転倒防止固定	1	か所			
掲示板	W1800×H900 枠アルミ製 ビニル紙貼	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=2,700	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=2,170	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=1,890	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=880	1	か所			
面台ボストフォーム	メラミン W150 t20 L=835	1	か所			
消火器(屋内)	ABC10型 スチール製 床置スタンド 共	4	か所			
<ロールスクリーン>						
ロールスクリーン 屋内運動スペース (AW-1)	ロールスクリーン 標準タイプ W2,600×H2,400	8	か所			
ロールスクリーン 屋内運動スペース (AW-2)	ロールスクリーン 標準タイプ W4,000×H2,400	2	か所			
ロールスクリーン ホーチ(AW-4)	ロールスクリーン 標準タイプ W1,000×H1,000	2	か所			
運搬・取付け		1	式			
<サイン>						
室名札 (S-1)	W250×H80 基板 アルミ型材 アルマイト仕上 表示 カッティングシート	2	か所			
ビッド外室名札 (S-2)	カッティングシートサイン、文字	3	か所			
ビッド外室名札 (S-2a)	サイン:ステンレス焼付塗装 t2.5 架台:ステンレス焼付塗装 t5.0	1	か所			
カッティングシート文字 (S-3)	H=30	2	か所			

[illegible]

津市建設部営繕課

外構		外構（管理棟）		囲障		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【RC塀】						
<土・地業>						
根切り	小規模土工	19.8	m ³			
床付け	つぼ,布掘り	34.2	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	14.4	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	5.4	m ³			
砂利地業	再生クワツヤソ	1.5	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.6	t			
鉄筋加工組立費	運搬費共	1	式			
<コンクリート>						
捨てコンクリート	Fc=18 SL-15	0.4	m ³			
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-18	10	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0025
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	7.2	m ²			
打放合板型枠	B種 地上軸部	77.4	m ²			
打放し面補修	B 種 コン処理 部分目違いばらい	77.4	m ²			
面木	面幅30mm程度	42.5	m			
型枠運搬費		1	式			

津市建設部営繕課

外構		外構（管理棟）		地下タンク、自家発電基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【地下タンク】						
<土・地業>						
根切り	小規模土工	63	m ³			
床付け	つぼ、布掘り	7	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	46.5	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	16.5	m ³			
砂利地業	再生クワツヤソ	1.1	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.3	t			
鉄筋加工組立費		1	式			
鉄筋運搬費		1	式			
アンカーボルト	M-16 L=650 ダブルナット L形 据付費共	4	本			
<コンクリート>						
捨てコンクリート	Fc=18 SL-15	0.4	m ³			
基礎コンクリート	Fc=21+S SL-18	7.9	m ³			
土間スラブコンクリート	Fc=21+S SL-18	2.3	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0026
<型枠>						
普通合板型枠	地下軸部	39.1	m ²			
面木	面幅30mm程度	10.8	m			

外構		外構（管理棟）		地下タタ、自家発電基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
型枠運搬費		1	式			
止水板	塩ビ製 230×9程度	21.6	m			
<左官>						
（外部仕上げ）						
床コンクリート直均し 仕上げ	木ごと 直均し仕上げ	7	m ²			
防水珪外塗り	土間・側面共	10.3	m ²			
連通管	φ40	1.2	m			
（内部仕上げ）						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごと 直均し仕上げ	3.2	m ²			
オイルタタ土台天端コ ンクリート直均し仕上げ	金ごと 幅300 曲面共	3.5	m			
防水珪外塗り	土間・側面共	19.5	m ²			
乾燥砂充填		6.1	m ³			
【自家発電・燃料 小出槽】						
<土・地業>						
根切り	小規模土工	18.9	m ³			
床付け	つば、布掘り	21.6	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	5.9	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	13	m ³			
砂利地業	再生クラッシュ	1.1	m ³			
<鉄筋>						

津市建設部営繕課

外構		外構（管理棟）		受水槽、ポンプ室基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<土・地業>						
根切り	小規模土工	9.4	m ³			
床付け	つぼ,布掘り	5.4	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	6.9	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	2.4	m ³			
砂利地業	再生クッション	0.8	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
鉄筋加工組立費		1	式			
鉄筋運搬費		1	式			
<コンクリート>						
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-18	2.7	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0028
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	7	m ²			
面木	面幅30mm程度	14.1	m			
型枠運搬費		1	式			
<左官>						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	5.6	m ²			
計						

外構		外構（管理棟）		基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<土・地業>						
根切り	小規模土工	10.6	m ³			
床付け	つぼ,布掘り	9.1	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	6.5	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	4.1	m ³			
砂利地業	再生クランパン	1.4	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.2	t			
鉄筋加工組立費	運搬費	1	式			
<コンクリート>						
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-18	4.6	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0029
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	6.2	m ²			
面木	面幅30mm程度	12.4	m			
型枠運搬費		1	式			
<左官>						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	9.1	m ²			
計						

外構		外構（管理棟）		室外機基礎		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<土・地業>						
根切り	小規模土工	5.4	m ³			
床付け	つぼ,布掘り	8	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	2.1	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	3.3	m ³			
砂利地業	再生クランパン	1.3	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
鉄筋加工組立費	運搬費共	1	式			
<コンクリート>						
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-18	4	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0030
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	6.4	m ²			
面木	面幅30mm程度	12.8	m			
型枠運搬費		1	式			
<左官>						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	8	m ²			
計						

外構		外構（管理棟）		その他		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【手洗・足洗】						
<土・地業>						
根切り	小規模土工	7.6	m ³			
床付け	つぼ,布掘り	12.6	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	4.4	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	3.2	m ³			
砂利地業	再生クワツラン	1.3	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
異形棒鋼	SD295A D10	0.1	t			
鉄筋加工組立費	運搬費共	1	式			
<コンクリート>						
捨てコンクリート	Fc=18 SL-15	0.6	m ³			
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-15	2.1	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0031
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	4.4	m ²			
普通合板型枠	地上軸部	12.7	m ²			
型枠運搬費		1	式			
面木	面幅30mm程度	21.9	m			

外構		外構（管理棟）		その他		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<左官>						
モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	2.2	m ²			
モザイクタイル張り	ユニットタイル モザイクタイル張り 25mm角 下地モルタル共	13.3	m ²			
【雨水タンク】						
雨水タンク 地上設置型	1,000L 手押しポンプ、取付器、樹脂製ホース共	2	台			
<土・地業>						
根切り	小規模土工	3.3	m ³			
床付け	つぼ、布掘り	606	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	1.2	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	2.1	m ³			
砂利地業	再生クワッパン	1.1	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
鉄筋加工組立費	運搬費共	1	式			
<コンクリート>						
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-18	2	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0032
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	2.4	m ²			
面木	面幅30mm程度	7.9	m			

外構		外構（屋内運動施設）		構内舗装		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
カー平板舗装	300×300 t 80 敷砂 t=30 路盤碎石RC-40 t=100	171	m ²			
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	120×120×600 碎石、捨ツ、敷ﾚｲﾙ共	97.8	m			
建物周囲碎石敷き	碎石敷き t=300 175m ² 程度 場内整地転圧 整地共	1	式			
【その他】						
雨水タンク 地上設置型	1,000L 手押しポンプ、取付器、樹脂製ホース共	6	台			
<土・地業>						
根切り	小規模土工	10	m ³			
床付け	つぼ、布掘り	20	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	3.7	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	6.3	m ³			
砂利地業	再生クワッパン	3.3	m ³			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D13	0.2	t			
鉄筋加工組立費	運搬費共	1	式			
<コンクリート>						
躯体コンクリート	Fc=21+S SL-18	5.9	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			別紙 00-0033
<型枠>						
普通合板型枠	基礎部	7.1	m ²			
面木	面幅30mm程度	23.7	m			

津市建設部営繕課

管理棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	一 般	657	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	一 般 S造 地上階	584	m ²			
計						
地足場		1	式			別紙 00-0003
地足場	掛払い手間	657	m ²			
地足場	供用30日賃料 修理費含む	657	m ²			
地足場	基本料 修理費含む	657	m ²			
仮設材運搬 (地足場)		657	m ²			
計						

管理棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	813	m ²			
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用60日賃料 修理費含む 12m未満 - -	813	m ²			
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	813	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手摺先行据置型)	建枠幅900(二枚布)	813	m ²			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 掛払い手間 -	126	m			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 供用60日賃料 修理費含む -	126	m			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	126	m			
仮設材運搬 (手摺先行据置型)	枠組本足場用(手すり先行方式)	126	m			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0005
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	584	m ²			
内部仕上足場	供用60日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	584	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	584	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	584	m ²			
計						

管理棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
垂直養生		1	式			別紙 00-0006
ネット状養生シート張り	防災 類 掛払い手間 -	523	m ²			
ネット状養生シート張り	防災 類 供用60日賃料 修理費含む -	523	m ²			
ネット状養生シート張り	防災 類 基本料 修理費含む -	523	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		523	m ²			
計						
水平養生		1	式			別紙 00-0007
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 掛払い手間	584	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 供用30日賃料 修理費含む	584	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 基本料 修理費含む	584	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		584	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0008
養生	一 般 S造 地上階	584	m ²			
計						

津市建設部営繕課

管理棟		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0011
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	5	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	5	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 4000×2000mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 窓等四方補強 4000×1000mm程度	1	か所			
計						
軽量鉄骨天井 開口部補強		1	式			別紙 00-0012
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 900×900mm程度 ボート等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度	17	か所			
計						

屋内運動施設		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0013
遣方	一 般	1,137	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0014
墨出し	一 般 S造 地上階	1,040	m ²			
計						
地足場		1	式			別紙 00-0015
地足場	掛払い手間	1,137	m ²			
地足場	供用30日賃料 修理費含む	1,137	m ²			
地足場	基本料 修理費含む	1,137	m ²			
仮設材運搬 (地足場)		1,137	m ²			
計						

津市建設部営繕課

屋内運動施設		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0017
<内部仕上足場>						
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	150	m ²			
内部仕上足場	供用60日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	150	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	150	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	150	m ²			
内部仕上足場 (手摺先行据置型)	掛払い手間 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 -	835	m ²			
内部仕上足場 (手摺先行据置型)	供用60日賃料 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 -	835	m ²			
内部仕上足場 (手摺先行据置型)	基本料 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 平家用	835	m ²			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手摺先行据置型)	4.0m超5.0m未満	835	m ²			
計						
垂直養生		1	式			別紙 00-0018
ネット状養生シート張り	防災 類 掛払い手間 -	834	m ²			
ネット状養生シート張り	防災 類 供用60日賃料 修理費含む -	834	m ²			
ネット状養生シート張り	防災 類 基本料 修理費含む -	834	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		834	m ²			
計						

屋内運動施設		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水平養生		1	式			別紙 00-0019
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 掛払い手間	1,040	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 供用30日賃料 修理費含む	1,040	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 基本料 修理費含む	1,040	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,040	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0020
養生	一般 S造 地上階	1,040	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0021
整理清掃 後片付け	一般 S造 地上階	1,040	m ²			
計						

津市建設部営繕課

屋内運動施設		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0023
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	3	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	3	か所			
計						
軽量鉄骨天井 開口部補強		1	式			別紙 00-0024
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度	2	か所			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	H=1.8m 単管パイプ下地、運搬費共	1	式			別紙 00-0034
キャスターゲート	W6000×H1800 供用240日賃料 損料・運搬費共	2	か所			
仮設鉄板敷		1	式			別紙 00-0035
鉄板下碎石敷き	碎石敷き t=400 146㎡程度 転圧共	1	式			
交通誘導員B		30	日			
室内空気汚染物質測定	ハット法 報告書作成共	1	式			
ラフレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	16t吊り ハレタ付き 賃料 標準	10	日			
ラフレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	35t吊り ハレタ付き 賃料 標準	10	日			
建設副産物情報交換システム登録		1	式			
試験費	表層改良 六価クロム溶出試験 配合試験、一軸圧縮強度試験	1	式			
仮設給水引込		1	式			別紙 00-0036
仮設電気引込		1	式			別紙 00-0037
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	H=1.8m 単管ハーフ下地、運搬費共	1	式			別紙 00-0034
ガードフェンス	H=1.8m、掛払い手間 単管ハーフ下地共	308	m			
ガードフェンス	供用240日賃料 修理費含む H=1.8m、単管ハーフ下地共	308	m			
ガードフェンス	基本料 修理費含む H=1.8m、単管ハーフ下地共	308	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		308	m			
計						
仮設鉄板敷		1	式			別紙 00-0035
仮設鉄板敷	設置費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	961	m ²			
仮設鉄板敷	撤去費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	961	m ²			
仮設鉄板敷	供用240日賃料 敷鉄板 1524×6096×22mm 12ヵ月以下	961	m ²			
仮設鉄板敷	整備費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	961	m ²			
仮設敷鉄板運搬		961	m ²			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設給水引込		1	式			別紙 00-0036
水道用ホリシリン管	軟質管・金属製継手接合 屋外架空・暗渠 20A	226	m			
水道用ホリシリン管 撤去	軟質管・金属製継手接合 屋外架空・暗渠 20A	226	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 20A	1	個			
配管切断接続 (樹脂管類)	20A	1	か所			
プラグ止め	20A	1	か所			
計						
仮設電気引込		1	式			別紙 00-0037
600V CVTケーブル	60mm2 ビット・天井	233	m			
600V CVTケーブル 撤去	60mm2 ビット・天井	233	m			
仮設引込開閉器盤	ELCB50AF/30AT	1	面			
仮設引込用鋼管柱	7m程度	1	本			
接地工事	D種	1	式			
計						

特記仕様書

【部分下請負通知書に関する事項】

受注者は、工事の一部について下請負させる場合は、部分下請負通知書を監督員に提出すること。なお、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付すること。

<名札の例>

【現場の管理に関する事項】

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、氏名、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させること。

なお、作業者についても受注者名が分かるよう配慮すること。

写 真 2cm×3cm 程度	主任・監理技術者 氏 名 ○○ ○○ 工事名 ○○○○○工事 工 期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日 会 社 ○○○○株式会社 印
--------------------------	--

注1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注2）印は所属会社の社印とする。

【安全対策に関する事項】

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

工事期間中の運搬車両及び重機等による騒音振動等については、周辺地域に及ぼす影響を最小限に食い止めると共に安全対策を講じること。また、施工に伴う公衆災害及び労働災害の防止に努めること。

なお、大型車両が出入りするとき、または、工事関係車両の出入りが頻繁になるときは、出入口等に誘導員を配置して事故防止に努めること。

【分離発注での安全対策追記】

本工事は他の工事と重複することから、安全対策や工程などの調整を図ることを目的とする安全対策協議会などを設置し、また設置されている場合は、これに積極的に参加し、安全対策をはじめ施工時期の調整など密接な調整を図り、各工事と協調をもって施工すること。

【墜落制止用器具着用に関する事項】

本工事は、墜落制止用器具着用を要件とし、安全対策に努めること。

【前払い金に関する事項】

請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、請負代金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いをするものとする。

【三重県産業廃棄物税に関する事項】

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。

なお、この期間を越えて請求することはできない。また、設計数量を越えて請求することはできない。

【工事实績情報の登録に関する事項】

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が土曜日、日曜日、祝日等を除き10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

【分離発注に関する事項】

本工事に係る建築工事および機械設備工事および電気設備工事は分離発注となるため、各工事の受注者は相互に協力し工事全体の円滑な運営をはかること。

【火災保険に関する事項】

津市工事請負契約約款第57条に定める火災保険を次の条件により付し、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく発注者に提示すること。

- | | | | |
|---|------|----------|-------------|
| 1 | 保険期間 | 開始日 | 工事着手日 |
| | | 終了日 | 工期に15日を加えた日 |
| 2 | 保険金額 | 請負代金額相当額 | |

【法定外の労災保険の付保】

受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（法定外の労災保険）に付さなければならない。また、津市工事請負契約約款第57条第3項の定めにより、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく発注者に提示すること。

【現場パトロールに関する事項】

当工事は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等の現場パトロールを行うことがある。

【施工体制台帳】

受注者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請負金額に関わらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。

【社会保険等未加入対策】

適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

【法定福利費の負担】

法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請負人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。

【完成報告書】

工事完成報告書の提出部数は3部とする。

【木材の調達目標】

本工事における木材の使用に当たっては、原則として地域産材（注1）を優先し、調達できない場合は県産材（注2）を使用するものとする。

なお、県産材については「三重の木」認証材を優先して使用するものとする。

注1 「地域産材」とは、津市内の森林から産出された木材で製材業者、津地区木材共同組合、津西部木材流通共同組合及び美杉木材共同組合の産地証明のあるものをいう。

また、集成材にあっても、構成する材は「地域産材」を優先使用したものであることとする。

注2 「県産材」とは、三重県内の森林から産出された木材とし、「三重の木」とは、三重県産の丸太を使用し、一定の基準に適合することを「三重の木」利用推進協議会により認証された木材製品をいう。

【鋼材及び建築設備等の調達に関する事項】

受注者の責めに帰すことができない社会情勢等による影響を起因とした事情により、最大限の努力をもってしても、鋼材（高力ボルト等の二次製品を含む。）及び建築設備等（新型コロナウイルス感染症の拡大を含む。）の調達に期間を要する場合は、受注者からの申出により工期延長の協議の対象とする。

【設計変更に関する事項】

設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）を参考とする。

（津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）

【建設発生土に関する事項】

受注者は、建設発生土を民有地へ処分する場合は土地所有者から「建設発生土受入承諾書」を得たうえで監督員に報告すること。なお、建設発生土を搬出する場合は「建設発生土搬出伝票」を発行し、搬出先、搬出土量等を把握すること。

らせ（工事・コンサル）」を参照）

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
暴力団等の不当介入の排除等	本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定める。 なお、下記の内容における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成27年津市訓第76号）において使用する用語の例による。 1 受注者等の義務 (1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。 なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準（平成21年4月8日施行）に基づく指名停止措置を講じるものとする。 また、上記1の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。 3 契約等の解除 上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。
配慮依頼事項	本契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮願います。 なお、本事項は、受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が下記の内容に応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。 1 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用すること。 2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用すること。 3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすること。 4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用すること。
津市公契約条例	本市が締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図ることに関し、必要な事項を定める。 なお、下記の内容における用語は、津市公契約条例（津市条例第22号）（以下「条例」という。）において使用する用語の例による。 1 受注者等の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、「労働環境の確保に係る誓約事項」に違反したとき。

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
労働環境の確保に係る誓約事項	津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。 また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。 8 労働報酬下限額の運用について (1) 受注者は、運用対象契約（以下「対象契約」という。）の受注関係者（下請業者等）及び労働者（以下「対象労働者」という。）に、当該運用について周知を徹底するとともに、労働状況台帳を津市へ提出することについて、同意を得ること。 (2) 対象契約について、受注関係者から労働環境の確保に係る誓約書を提出させること。 (3) 対象労働者には労働報酬下限額以上の賃金を支払うこと。 (4) 津市が指定する期日までに対象契約に係る労働状況台帳を提出すること。 (5) 津市が行うアンケート調査について協力すること。 (6) 受注者は、受注関係者の労働環境の確保に係る誓約書、労働状況台帳及びアンケート調査を取りまとめ、津市が指定する期日までに提出すること。 (7) (1)から(6)に掲げるもののほか、その他労働報酬下限額の運用に関して行う事務は、津市公契約条例労働報酬下限額運用マニュアルに基づき、適切に履行すること。 (8) 労働報酬下限額の運用に関する津市からの案内、通知及び指導には、誠実に対応すること。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	本工事における新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、下記のとおり徹底を図るものとする。 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いため、建設現場等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請業者をはじめ、下請業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 5 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。 なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 6 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとする。 この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金の変更の対象とするものとする。

令和 4 年度津市労働報酬下限額

労働報酬下限額	9 4 0 円
---------	---------

津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書

1 趣旨

津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。

しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。

このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。

2 発注者及び受注者の責務

- (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。
- (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。

3 定義

- (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。
- (2) 「不当要求行為等」とは、
 - ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為
 - イ 暴力行為、脅迫行為
 - ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為
 - エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為
 - オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為
 - カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為
- (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。

4 工事説明の進め方

- (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。
- (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。
- (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。
- (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。

- (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。
- (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。

5 不当要求行為等

- (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。
- (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。
- (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。

ワンデーレスポンス実施に関する特記仕様書

1. この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

基礎ぐい工事に関する特記仕様書

1 全般

既製杭工については、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書によるものとする。
 なお、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書は、他の特記仕様書より優先するものとする。

2 適用すべき諸基準

受注者は、下記の基準を適用する。
 国土交通省告示第四百六十八号 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置（平成28年3月4日）

3 施工計画書、施工記録

受注者は、既製杭の施工前に「基礎杭施工計画書」を監督員に提出しなければならない。施工計画書には以下の項目について詳細に記載し、施工にあたりその内容を実に履行するとともに、杭全数の施工記録を整備および保管しなければならない。

- (1) 納入する杭、その他使用する材料の規格・品質確認の方法
- (2) 材料の現地搬入時における規格・品質・納入数量の確認方法
- (3) 工法の名称、概要、使用材料、適合条件、杭の支持力算定式を示した関連書類
- (4) 地盤の概要や設計支持力に関する事項
- (5) 施工の概要、手順、及び施工順序に関する事項
- (6) 使用する機械設備に関する事項、および当該機械の性能の証明に関する事項
- (7) 機械設備等の配置平面図、側面図
- (8) 各種注入材料の品質、名称、配合量等の配合計画に関する事項、および出典根拠
- (9) 各種注入液の配合設備及び練混ぜ方法に関する事項
- (10) 試験杭等の目的、場所、時期、及び試験結果の反映方法等に関する事項
- (11) 杭打設における施工管理方法に関する事項
 掘削速度や引上げ速度、杭芯ずれ、鉛直度、杭体の保持、杭頭高さ（打止め高さ）、所定深度への到達、球根拡大、杭1本ごとの各種注入液（根固め液、杭周固定液）の注入量の確認方法（流量計等）、杭の沈設、支持層管理（オーガ駆動）電流値の確認方法、その他、各段階における必要な施工管理項目
- (12) 継手の施工管理方法に関する事項
 溶接前の溶接面の有害物除去状況、溶接時の天候、その他必要な施工管理項目
- (13) 各種注入液（根固め液、杭周固定液）の配合や圧縮強度試験等、品質を証明するために必要な試験方法及び頻度等に関する事項
- (14) 施工及び施工管理に関して、技術者及びその他作業人員の配置、役割、チェック体制及び責任の所在
- (15) 取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法
- (16) 上記のほか必要な事項

4 不可視部の写真撮影

杭の施工にあたっては、不可視部の確認ができるよう写真管理を適切に行うこと。
 近景、遠景共に、杭やビット、溶接箇所、黒板等に杭番号、その他必要な情報を入れて撮影すること。

5 試験杭

試験杭は、以下のことについて調査・確認を行うこと。

- (1) 地盤に適合した杭長の確認
- (2) 支持層の位置（深度）と土質標本との確認
- (3) 適切な施工機械の確認
- (4) 施工時間の調査による工程の確認
- (5) 各種注入液の適否の調査
- (6) 溶接継ぎ手のパス数や外観検査
- (7) 各作業項目における電流値の変化、土質データとの電流値の相関関係
- (8) 杭の沈設精度の管理方法

6 支持層への到達確認

受注者は、杭全数について支持層への到達を確認すること。なお、確認にあたっては、ボーリングデータ等の土質調査資料、試験杭における各土質とオーガ掘削時の電流値の比較、隣接する施工済み杭の施工記録等により総合的に判断する。

支持層到達の判断が困難となった場合は、監督員と協議すること。

7 施工記録の提出

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

8 根拠資料の保管

共通仕様書、特記仕様書、及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（野帳、手簿、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。